



結核

結核とは、結核菌による感染症で、毎年約 16,000 人の方が新たに発症している日本の主要な感染症です。誰でもかかる可能性があります。



主な症状

結核菌は主に肺の内部で増え、咳・痰・微熱などの症状が現れ、時に血痰、食欲低下、体重減少などがみられるようになります。症状がすすむと、肺の病変が拡大して呼吸困難に陥ることがあります。また、肺以外の臓器で増えることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。



感染経路

結核を発病して排菌している人が、咳やくしゃみなどをした時に、空気中に飛び散った飛沫に含まれる結核菌を吸いこむことにより感染します(飛沫感染)。結核は人から人へ感染するため、人口密度の高い大都市で罹患率が高い傾向にあります。



感染と発病

★「感染」とは

結核菌が体内に入り込んだ状態をいいます。結核菌が体内にあっても、特に悪い影響を与えていない状態で、人への感染性はありません。免疫力が低下して体力が落ちた時に発病することもあります。健康的な生活により免疫力を保てれば一生発病しない方もいます。

★「発病」とは

結核菌が体内で増えて病気を引き起こした状態をいいます。発病の初期は、結核菌が排菌されることはありませんが、進行により排菌し、他の人へ感染させるようになります。

予防

★予防接種（BCG）をうけましょう



乳幼児期に接種するワクチンです。結核の発症を 52～74%程度、重篤な髄膜炎や全身性の結核に関しては 64～78%程度予防することができます。母子手帳で接種しているかを確認しましょう。

★免疫力を高めましょう

適度な運動、十分な睡眠、バランスの良い食事、禁煙など健康的な生活をこころがけましょう。

★定期健診を受けましょう

早期発見のために胸部エックス線(レントゲン)検査を 1 年に 1 回程度受けておくことが大切です。



★早めに受診しましょう

痰が絡む咳、身体のだるさ、微熱などの症状が2週間以上続いている方は、結核の可能性もあるので、早めに受診しましょう。

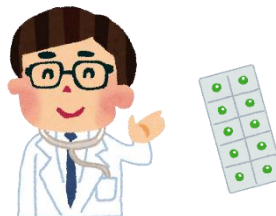
結核が進行すると咳やくしゃみによって周りの人への感染リスクが高くなることから、早期発見・早期治療が重要です。

治療

複数の抗結核薬を6か月以上飲み続ける必要があります。

★注意

治療を開始した後、治療の途中で服薬を止めてしまったり、指示された通りに飲まなかったりすると、結核は完治しません。それどころか菌が抵抗力をつけ、薬が全く効かない多剤耐性菌になり、治療が非常に難しくなることがあります。医師の指示を守って、治療完了まできちんと薬を飲み続けることが最も重要です。



- ・ 東京都感染症情報センター

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/tb/>

- ・ 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html

- ・ 公益財団法人結核予防会結核研究所

<https://jata.or.jp/about/basic/>

- ・ 首相官邸ホームページ

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/kekkaku.html>